

【R06 空家等対策支援専門家派遣事業 File24 池田町作成】

講演名：第2回 空き家対策を学ぶ講座&相談会

副題：住まいの活かし方を知る空き家の利活用事例

～どんな風に利活用できる？ 建築士から教えてもらうリノベーションのお話し～

講師：まるやま設計室 建築士:丸山 雄太 氏

日時：令和6年12月7日(土) 9:30～12:30

前半：丸山氏の講座（役場から、移住需要についての説明含む）9:30～10:40

後半：空き家個別相談会10:50～12:30

場所：池田町交流センターかえで 学習室

参加者：11名（後半の個別相談会は7組）

次第：●役場総務課移住定住係より、開会のあいさつ

- 役場総務課移住定住係より、町の移住需要などの説明
- 丸山氏より、空き家の利活用事例についての講演・質疑応答
- 空き家個別相談会

目的：空き家の利活用事例を講演してもらうことにより、空き家の需要があることを所有者等に知ってもらい、将来の空き家の利活用につなげてもらう

内容：

【前段】

最初に、役場移住定住係から、池田町における移住需要について説明を行った。空き家所有者（または将来空き家になる予定の所有者等）の多くは、町内中古住宅の需要がないと捉えている方が多いのではないかとという視点に立ち、県から発表される統計データ等を示しながら、景観等に魅力を感じ県外からの移住希望者が多数いることや、それにもかかわらず物件数が足りていない事などをかみ砕いて説明した。

その後、講師である丸山氏からの講演を行った。丸山氏自身、池田町へのUターン者であり、家族で話し合ったうえ、実家の離れ（長期間物置状態）をフルリノベーションして自宅兼設計事務所として家族と生活していることを具体的に語ってもらった。また、物件のビフォーアフターについて写真を多用して説明していただいた。北アルプス側（西側）に窓を取り付け、光を多く取り入れたりしたことなどによって新しく生まれ変わった建物の紹介は、空き家物件がここまで素敵に生まれ変わるのだということを、印象深く参加者に伝えることができたと思う。

講座の形式は基本的には丸山氏からの説明であったが、移住定住係から質問したりして、一部会話形式で進めていった。講座後の質問では、自宅に薪ストーブを設置することの問題点（煙がでることによる近隣との関係）や、フルリノベーションでなく新築した場合の費用感について発言があった。

建築士の仕事とはどういったことを行っているか、また、まるやま設計室のコンセプト

【R06 空家等対策支援専門家派遣事業 File24 池田町作成】

ト（生き方のきっかけとなる「場」をつくること。機能的で普遍的な美しさのある家を提案すること。できるだけその地域の木を使うこと、など）を丁寧に説明いただき、本講座の目的をしっかりと参加者に伝えることができたと思う。

【後段】

池田町空き家バンクに尽力してもらっている「池田町空き家等利活用連絡会」の会員で、町内不動産業者である山田氏、猿田氏と、役場移住定住係員による「空き家に関する個別相談会」を実施した。丸山氏にもその場に残ってもらい、参加者の方や、前半の講義後に足を運んでくれた参加者の対応にあたっていただいた。

相談内容として、今は自分たちが住んでいるが、将来子どもが戻ってくる予定もなく、空き家になってしまうのではないかと、相続をどうすればいいのかわからないという不安を挙げられる方が多かった。また、具体的に空き家の処分（売却等）を考えている方も複数おり、同席した不動産業者につなげることができ、適時に空き家バンクに登録申請を行ってもらった流れとなった。

感想：今回は、物件の所有者に多く参加してもらい、将来の不安に対する相談や、具体的な空き家の処分につながるきっかけ作りができたのではないかなと思う。本講座を通じて、空き家問題に関心を持ってもらい、将来の空き家バンクの申請等、空き家の利活用を自分事として捉えてもらえればと思う。

前半の講演



後半の個別相談会

